

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		中学校の避難訓練の参画、生徒のボランティアや職業体験と来期は新企画が目白押しのため、年間計画に位置付け実現が確実にになるとよい	年間行事の作成を行う。ボランティアの方や学校などへの訪問を行い確実にいけるように相談等をする。	学校への訪問、生徒や先生、近隣のボランティアの方などに施設があることを知ってもらえるように地域の方を呼び大きなイベントを開催するなどをし周知して頂く。	6ヶ月
2		ボランティアが多く訪問することから、市の推進するシニアサポーター事業への受入登録を済ませ、活動がますます盛んになるとさらにより	ボランティアの方を前年度よりも声掛けし着て頂けるようにする。シニアサポーターについては市に確認し活動して頂けるようにする。	前年度に来ていただいたボランティアの方に声掛けしまたその方から他の方を紹介して頂くなど、輪を広げていくようにする。シニアサポーターについては市の方に相談にいき検討し活動状況などの確認をし活用していきたい。	6ヶ月
3		かかりつけ医を継続している人については今後の看取り往診にやや心配がある	かかりつけ医へ受診時など家族に説明をしまたかかりつけ医と連絡をとり今後の相談などもしていく。	家族に再度看取りなどについて詳しく説明を行い家族の希望の確認を行う。かかりつけ医に関しては連絡を取るなどし連携できる状態にしておく。	6ヶ月
4		①新採研修ではどこまでの内容を行っているか ②緊急時対応、看取り方針と合意の書面をどうするのか	施設で行う研修内容などの把握をする。緊急時の対応をスタッフと確認し統一する。	研修の具体的な内容の確認をし全員が対応できるようにする。緊急時については、家族と相談し医師との連携、また看取りの書面に関しては確認し家族に今後の確認説明を行う。	6ヶ月
5		①消防署員立ち合いの下、正しい手順を見直した上でどの職員も同じことができるようになる ②夜間想定を行う	①消防の立ち合いをお願いし再度手順やどのように行うのかの確認をしスタッフ全員が確実に行えるようにする。②夜間を想定した避難訓練の実施をする。	消防の方を呼び避難訓練の実施。具体的に避難の状況などをあげ現在の不安な点等確認する。又避難方法なども手順などの確認を行う。夜間時の避難方法なども助言をもらい徹底する。	6ヶ月
6		①5Sの行き届いた共用空間ですが、1点清掃用具の置き場が気になる。感染症も鑑み検討するとおよい ②頭がついたもので大きな心配はないものの画鋲を多用されている点への見直し	掃除用具などの置き場所の確認をし感染症の起きないように徹底する。画鋲については、なるべく使用しないようにする。	掃除用具の置き場についてはスタッフで話し合い徹底する。感染についても対応を考える。画鋲などの使用はなるべくさけて他の物を代用するなど展示方法を考えるようにする。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。